

巨人

春の到来

来り 大いなる響き
耳を澄ましたまえ、家族の者らよ
櫛らは思い出すがよい、かの大木の年輪を
全てを養いし遥かなる約束に
敬虔なる驚きの眼差しを注ぎ、黙^{もだ}すがよい

偉大なる権力と慈愛は来り
神々さえひれ伏すその巨人の前に
雪は退き、草木^{そうぼく}は柔らかに身を解く
扉を開けて招じ入れよ、その夜明けを
汝等が美しき裸身をその^{ひかり}陽光に曝せ

(1984.12.24)